

| 令和 3 年度 岩手中・高等学校 学校評価 結果報告書 |   |   |
|-----------------------------|---|---|
| 評価項目 1                      | 学校教育目標の設定・共有  |   |
| 現 状                         | 昨年度の自己評価はB（78.7%）であった。  |   |
| 評価指標                        | 全教職員が学校教育目標を共通理解し、その達成に向けて努力する。   |   |
| 達成目標<br>(数値目標)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員と生徒との信頼関係確立。</li> <li>・規律と秩序の遵守。</li> <li>・全ての生徒の希望進路の実現。</li> </ul> |   |
| 実際の取り組み状況                   | <b>「全体方針・ビジョン」及び各分掌の「具体的目標」にしたがって、定期的な検証と改善の計画実施を促した。</b>   |   |
| 自己評価                        | <b>B</b><br>(79.5%)   | [反省・意見]<br>・全体方針を「わかりきったこと」として再確認していない。始業式、後期始業式などで確認する機会を増やすべき。  |
| 評価基準                        | A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持にとどまった D：現状より悪くなった  |   |
| 学校関係者評価                     | <b>B</b>  | [意見・提言]<br>・全教職員一丸となって生徒との信頼関係を確立してほしい。   |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる D：現状より悪くなったと認められる   |   |
| 第三者評価                       | <b>B</b>  | [意見・提言]<br>新型コロナウイルス禍であっても、アンケートからは教師への信頼は高い様子がかがいが知れる。その一方で、授業規律のゆるみが一部で見られる。<br>生徒との関係のよさが、緩さにつながらないように意識してほしい。 |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる D：現状より悪くなったと認められる   |   |
| 次年度に向けての課題                  | 本校がどのような教育に力を入れていこうとするのかを再確認し、教職員が共有し、一体となって指導を行っていくことが必要である。   |   |

#### 自己評価の基準

ア よくあてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ 全くあてはまらない

- A 達成した ア、イの合計が85%以上**  
**B ほぼ達成した ア、イの合計が60%以上、85%未満**  
**C 現状維持にとどまった ア、イの合計が40%以上、60%未満**  
**D 現状より悪くなった ア、イの合計が40%未満**

令和 3 年度 岩手中・高等学校 学校評価 結果報告書

|                |   |   |
|----------------|---|---|
| 評価項目 2         | 組織の充実・校務分掌の明確化  |   |
| 現 状            | 昨年度の自己評価はB（74.2%）であった。  |   |
| 評価指標           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標や重点目標を達成するため、各分掌の役割や取り組み内容を明確にする。</li> <li>・組織的に連携するため、自己の職務の検証と他の分掌への提案を行う。</li> </ul> |   |
| 達成目標<br>(数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分掌の円滑な連携。</li> <li>・常に改善を念頭にして業務を行う。</li> </ul>  |   |
| 実際の取り組み状況      | <b>各分掌間で協力して業務を行った。</b>   |   |
| 自己評価           | <b>B<br/>(70.9%)</b>  | [反省・意見]<br>・約半数の人が業務分担がかたよっていると感じている。   |
| 評価基準           | A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持にとどまった D：現状より悪くなった  |   |
| 学校関係者<br>評価    | <b>B</b>  | [意見・提言]<br>・1人1台端末の導入など新時代への対応が求められる中、分掌の枠にとらわれずに、協力してほしい。  |
| 評価基準           | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる  |   |
| 第三者評価          | <b>B</b>  | [意見・提言]<br>新型コロナウイルスへの対応やICTの学校現場への急速な普及といった要因で、校務の大幅な見直しが求められている。今後校務分掌の見直し、再編をすることで、各分掌がチームとして機能する動きを期待したい。 |
| 評価基準           | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる  |   |
| 次年度に向けての課題     | 1つの業務を1人が担当するのではなく、1つの業務を複数の人が担当する体制を構築したい。   |   |

**自己評価の基準**

**ア よくあてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ 全くあてはまらない**

**A 達成した ア、イの合計が85%以上**

**B ほぼ達成した ア、イの合計が60%以上、85%未満**

**C 現状維持にとどまった ア、イの合計が40%以上、60%未満**

**D 現状より悪くなった ア、イの合計が40%未満**

令和 3 年度 岩手中・高等学校 学校評価 結果報告書

|                |   |  |
|----------------|---|--|
| 評価項目 3         | 学年・学級運営の充実  |  |
| 現 状            | 昨年度の自己評価はB（83.2%）であった。  |  |
| 評価指標           | 学年団は、教育目標や重点目標を把握し、生徒の居場所となる学校や学級づくりに努力している。  |  |
| 達成目標<br>(数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に学年情報交換会を行う。</li> <li>・定期的に学年集会を行う。</li> <li>・定期的に大掃除を行い、校内の美化に努めている。</li> <li>・2者面談、3者面談を1年にそれぞれ最低1回行う。</li> </ul> 以上の項目につき、ア、イ（下記自己評価の基準を参照）の合計が85%以上を目指す。 |  |
| 実際の取り組み状況      | <b>上記の項目について、定期的な検証と改善をはかった。</b>  |  |
| 自己評価           | <b>B</b><br>(83.5%)   | [反省・意見]<br>・新型コロナウイルス感染症による影響で、学年集会があまり行われなかった。<br>また、大掃除の回数も減った。                      |
| 評価基準           | A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持にとどまった D：現状より悪くなった  |  |
| 学校関係者<br>評価    | <b>B</b>  | [意見・提言]<br>・新型コロナ対応はまだ続くと思われる。これをチャンスととらえ、新しい取り組みを模索してほしい。                             |
| 評価基準           | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる  |  |
| 第三者評価          | <b>B</b>  | [意見・提言]<br>新型コロナウイルス対応が長期化する中で、授業だけでなく、学級経営などあらゆる場面でのICTの活用が求められる。<br>早急に取り組むことを期待したい。 |
| 評価基準           | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる  |  |
| 次年度に向けての課題     | 各学年団が会議時間を持てるような時間割の工夫を今後も続けたい。   |  |

**自己評価の基準**

**ア よくあてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ 全くあてはまらない**

- A 達成した ア、イの合計が85%以上**
- B ほぼ達成した ア、イの合計が60%以上、85%未満**
- C 現状維持にとどまった ア、イの合計が40%以上、60%未満**
- D 現状より悪くなった ア、イの合計が40%未満**

| 令和 3 年度 岩手中・高等学校 学校評価 結果報告書 |   |  |
|-----------------------------|---|--|
| 評価項目 4                      | 教育課程の円滑な推進  |  |
| 現 状                         | 昨年度の自己評価はA（86.4%）であった。  |  |
| 評価指標                        | 各コースごとに特色ある教育課程の編成に努めている。   |  |
| 達成目標<br>(数値目標)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業交換のしやすい時間割を組み、自習を前年より5%減ずる</li> <li>・クラス分けを工夫し、効果的な時間割編成をする。</li> <li>・生徒の現状を考慮し、各コースの見直しを行う。</li> <li>・特進系は大学入試共通テストを、総進系は推薦入試を目標とした効果的なカリキュラムが組まれている。</li> <li>・中学校は中高一貫教育の効果的なカリキュラムが組まれている。</li> </ul> 以上の項目につき、ア、イ（下記自己評価の基準を参照）の合計が85%以上を目指す。 |  |
| 実際の取り組み状況                   | 上記の項目について、定期的な検証と改善をはかった。   |  |
| 自己評価                        | <b>A</b><br>(85.0%)   | [反省・意見]<br>・新教育課程を見据えた取り組みが必要。   |
| 評価基準                        | A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持にとどまった D：現状より悪くなった  |  |
| 学校関係者評価                     | <b>A</b>  | [意見・提言]<br>・様々な新しい試みに取り組んでほしい。   |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる  |  |
| 第三者評価                       | <b>B</b>  | [意見・提言]<br>新教育課程への移行準備は各担当分掌で進んでいると思われるが、その一方で、教師全員が新教育課程への対応ができていないかどうかに不安を感じる。<br>新年度開始時までには、全体での準備を進めることを期待したい。 |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる  |  |
| 次年度に向けての課題                  | ・新学習指導要領に基づいた各教科の円滑な指導。   |  |

#### 自己評価の基準

ア よくあてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ 全くあてはまらない

- A 達成した ア、イの合計が85%以上
- B ほぼ達成した ア、イの合計が60%以上、85%未満
- C 現状維持にとどまった ア、イの合計が40%以上、60%未満
- D 現状より悪くなった ア、イの合計が40%未満

| 令和 3 年度 岩手中・高等学校 学校評価 結果報告書 |   |   |
|-----------------------------|---|---|
| 評価項目 5                      | 教科指導の充実   |   |
| 現 状                         | 昨年度の自己評価はA（89.9%）であった。  |   |
| 評価指標                        | 生徒の実態を踏まえた学習指導方法の工夫・検証・改善が行われている。   |   |
| 達成目標<br>(数値目標)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価アンケートの結果を年に1回、各科で検討し、その都度改善策を検討する。</li> <li>・英検、漢検の目標合格率を定めてクリアする。</li> <li>・計画的に宿題・課題を出し、家庭学習の習慣が定着するように工夫する。</li> <li>・授業改善、アクティブラーニングの積極的導入。</li> </ul> 以上の項目につき、ア、イ（下記自己評価の基準を参照）の合計が85%以上を目指す。 |   |
| 実際の取り組み状況                   | <b>上記の項目について、定期的な検証と改善をはかった。</b>  |   |
| 自己評価                        | <b>A</b><br>(91.3%)   | [反省・意見]<br>・各教員がICTを活用した授業改善を行った。   |
| 評価基準                        | A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持にとどまった D：現状より悪くなった  |   |
| 学校関係者評価                     | <b>A</b>  | [意見・提言]<br>・教師のICT活用の取り組みへの意識が高まったように思われる。  |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる  |   |
| 第三者評価                       | <b>A</b>  | [意見・提言]<br>授業における教師のICT活用が急速に進んだ。ICT活用のよさを多くの教員が感じていると思われる。その一方で、今後アクティブラーニングを意識した授業でのICT活用が進むことが求められる。 |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる  |   |
| 次年度に向けての課題                  | 授業改善のさらなる推進。  |   |

#### 自己評価の基準

ア よくあてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ 全くあてはまらない

- A 達成した ア、イの合計が85%以上**  
**B ほぼ達成した ア、イの合計が60%以上、85%未満**  
**C 現状維持にとどまった ア、イの合計が40%以上、60%未満**  
**D 現状より悪くなった ア、イの合計が40%未満**

| 令和 3 年度 岩手中・高等学校 学校評価 結果報告書 |  |   |
|-----------------------------|--|---|
| 評価項目 6                      | 生徒指導の充実  |   |
| 現 状                         | 昨年度の自己評価はA（87.6%）であった。   |   |
| 評価指標                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員が共通理解のもとに統一的な生徒指導を行っている。</li> <li>・情報交換が常になされ、全教職員が問題を共有している。</li> </ul>   |   |
| 達成目標<br>(数値目標)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻者数1日10以下、整容違反0。</li> <li>・挨拶指導、入室指導の徹底。</li> <li>・いじめ早期発見、早期指導、早期解決。</li> </ul> 以上の項目につき、ア、イ（下記自己評価の基準を参照）の合計が85%以上を目指す。 |   |
| 実際の取り組み状況                   | <b>上記項目について、定期的な検証と改善をはかった。</b>  |   |
| 自己評価                        | <b>A</b><br>(86.5%)  | [反省・意見]<br>・「いじめ」防止対策について早期かつ組織的に対応できた。   |
| 評価基準                        | A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持にとどまった D：現状より悪くなった   |   |
| 学校関係者<br>評価                 | <b>A</b>   | [意見・提言]<br>・いじめに関しては、問題なく対応できていると思われる。  |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる   |   |
| 第三者評価                       | <b>A</b>   | [意見・提言]<br>いじめや問題行動に対してはしっかりと対応できていると思われる。生徒との人間関係も基本的によい状態である。新型コロナウイルスへの対応が続いている中で、引き続き個へのていねいな対応をお願いしたい。 |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる   |   |
| 次年度に向けての課題                  | 素早く、きめ細かい対応を心がけたい。   |   |

#### 自己評価の基準

**ア** よくあてはまる **イ** ややあてはまる **ウ** あまりあてはまらない **エ** 全くあてはまらない

**A** 達成した ア、イの合計が85%以上

**B** ほぼ達成した ア、イの合計が60%以上、85%未満

**C** 現状維持にとどまった ア、イの合計が40%以上、60%未満

**D** 現状より悪くなった ア、イの合計が40%未満

| 令和 3 年度 岩手中・高等学校 学校評価 結果報告書 |   |
|-----------------------------|---|
| 評価項目 7                      | 進路指導の充実   |
| 現 状                         | 昨年度の自己評価はA（85.7%）であった。  |
| 評価指標                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導を向上させるため、朝学習や家庭学習の習慣の定着をはかる。</li> <li>・放課後講習を実施し、模試の分析などによって現役合格率を上げる。</li> </ul>   |
| 達成目標<br>(数値目標)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の大学進学満足度80%以上。</li> <li>・卒業生の専門学校進学満足度80%以上。</li> <li>・卒業生の就職満足度80%以上。</li> </ul> 以上の項目につき、ア、イ（下記自己評価の基準を参照）の合計が85%以上を目指す。 |
| 実際の取り組み状況                   | <b>上記の項目について、定期的な検証と改善をはかった。</b>  |
| 自己評価                        | <b>B</b><br>(77.8%)<br>[反省・意見]<br>・卒業生の満足度は高かったと思われるが、さらに指導して力をつけさせたい。  |
| 評価基準                        | A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持にとどまった D：現状より悪くなった  |
| 学校関係者評価                     | <b>B</b><br>[意見・提言]<br>・進路に対するモチベーションを高め、学習量を増やしてほしい。   |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる D：現状より悪くなったと認められる   |
| 第三者評価                       | <b>B</b><br>[意見・提言]<br>卒業生の満足度の高さは評価できるが、1、2年時の進路意識をどう育てるかを意識してほしい。生徒一人ひとりが自分の将来をしっかりと見据えた上で、毎日の学習に取り組めることが、学力向上へのカギとなる。新学習指導要領の精神を踏まえ、早い段階から進路意識を育てることを目指してほしい。      |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる D：現状より悪くなったと認められる   |
| 次年度に向けての課題                  | 大学入試共通テストの問題分析と対策   |

#### 自己評価の基準

ア よくあてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ 全くあてはまらない

A 達成した ア、イの合計が85%以上

B ほぼ達成した ア、イの合計が60%以上、85%未満

C 現状維持にとどまった ア、イの合計が40%以上、60%未満

D 現状より悪くなった ア、イの合計が40%未満

| 令和 3 年度 岩手中・高等学校 学校評価 結果報告書 |  |  |
|-----------------------------|--|--|
| 評価項目 8                      | 家庭・地域との連携の推進   |  |
| 現 状                         | 昨年度の自己評価はA（88.1%）であった。   |  |
| 評価指標                        | 日頃から保護者との連携を強め、学年通信、ホームページ等により、適切な学校の情報を提供する。  |  |
| 達成目標<br>(数値目標)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年通信を年間10回以上発行する。</li> <li>・近隣中学校へ年2回以上訪問する。</li> <li>・文化祭の参観数が前回を超える。</li> <li>・オープンスクールの参加者数が前回を超える。</li> <li>・PTA総会の出席者数を把握する。</li> <li>・学校ホームページを充実させるとともに、印刷物等で学校情報を公開する。</li> </ul> 以上の項目につき、ア、イ（下記自己評価の基準を参照）の合計が85%以上を目指す。 |  |
| 実際の取り組み状況                   | 上記項目について、定期的な検証と改善をはかった。   |  |
| 自己評価                        | A<br>(90.1%)   | [反省・意見]<br>・新型コロナウイルス感染症により、訪問回数が減り、各行事の参加者数も減ったが、工夫しながら学校の情報を提供できた。   |
| 評価基準                        | A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持にとどまった D：現状より悪くなった   |  |
| 学校関係者<br>評価                 | A  | [意見・提言]<br>・オンライン面談など、オンライン環境の活用を検討してほしい。  |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる   |  |
| 第三者評価                       | A  | [意見・提言]<br>新型コロナウイルス禍の中でも学校の情報をきちんと提供できていることは評価できる。家庭のICT環境は年々整ってきているので、ICTを活用した情報提供やコミュニケーションに積極的に取り組んでほしい。 |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる   |  |
| 次年度に向けての課題                  | オープンスクールの内容、スケジュールの企画再検討。  |  |

#### 自己評価の基準

ア よくあてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ 全くあてはまらない

- A 達成した ア、イの合計が85%以上
- B ほぼ達成した ア、イの合計が60%以上、85%未満
- C 現状維持にとどまった ア、イの合計が40%以上、60%未満
- D 現状より悪くなった ア、イの合計が40%未満



| 令和 3 年度 岩手中・高等学校 学校評価 結果報告書 |   |  |
|-----------------------------|---|--|
| 評価項目 9                      | 省エネルギーの実行   |  |
| 現 状                         | 昨年度の自己評価はA（100%）であった。   |  |
| 評価指標                        | 光熱水費や用紙等の無駄を省き、省エネやリサイクルに取り組んでいる。   |  |
| 達成目標<br>(数値目標)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱費、暖房費を前年より減ずる。</li> <li>・分別回収を徹底する。</li> </ul> 以上の項目につき、ア、イ（下記自己評価の基準を参照）の合計が85%以上を目指す。 |  |
| 実際の取り組み状況                   | <b>上記項目について、定期的な検証と改善をはかった。<br/>事務室に電力消費の表を掲示し「見える化」をはかった。</b>  |  |
| 自己評価                        | <b>A</b><br>(92.1%)   | [反省・意見]<br>・各家庭でも常識になりつつあるためか、非常に好スコアである。  |
| 評価基準                        | A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持にとどまった D：現状より悪くなった  |  |
| 学校関係者<br>評価                 | <b>A</b>  | [意見・提言]<br>・今後とも省エネやリサイクルに取り組んでほしい。  |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる  |  |
| 第三者評価                       | <b>A</b>  | [意見・提言]<br>昨年度の100%には及ばないが高い達成度を維持できていることは素晴らしい。生徒も巻き込んで、SDG'sを意識した取り組みが進むことを願う。 |
| 評価基準                        | A：達成したと認められる B：ほぼ達成したと認められる C：現状維持であると認められる<br>D：現状より悪くなったと認められる  |  |
| 次年度に向けての課題                  | 省エネの徹底。   |  |

#### 自己評価の基準

ア よくあてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ 全くあてはまらない

- A 達成した ア、イの合計が85%以上
- B ほぼ達成した ア、イの合計が60%以上、85%未満
- C 現状維持にとどまった ア、イの合計が40%以上、60%未満
- D 現状より悪くなった ア、イの合計が40%未満

| 令和 3 年度 岩手中・高等学校 学校評価 結果報告書 |   |   |
|-----------------------------|---|---|
| 評価項目10                      | 特別指導の充実 (中学校)   |   |
| 現 状                         | 昨年度の自己評価はA (89.1%) であった。  |   |
| 評価指標                        | 様々な体験活動や特色ある活動等が活発に行われている。  |   |
| 達成目標<br>(数値目標)              | ・体験活動・職場訪問・ボランティア活動を各定期考査終了直後に実施する。<br>・講演会を随時催す。<br>以上の項目につき、ア、イ (下記自己評価の基準を参照) の合計が85%以上を目指す。 |   |
| 実際の取り<br>組み状況               | <b>上記項目について、定期的な検証と改善をはかった。</b>   |   |
| 自 己 評 価                     | <b>B</b><br>(83.3%)   | [反省・意見]<br>・新型コロナウイルス感染症により、中止したり、規模を縮小して実施した活動もあったが、工夫してできることは実施した。                          |
| 評価基準                        | A : 達成した B : ほぼ達成した C : 現状維持にとどまった D : 現状より悪くなった  |   |
| 学校関係者<br>評価                 | <b>B</b>  | [意見・提言]<br>・新型コロナウイルスと共存が前提となる中、新たな取り組みを期待したい。  |
| 評価基準                        | A : 達成したと認められる B : ほぼ達成したと認められる C : 現状維持であると認められる<br>D : 現状より悪くなったと認められる                        |   |
| 第三者評価                       | <b>B</b>  | [意見・提言]<br>新型コロナウイルスの影響で、思うように活動できないことは残念であった。従来の取り組みを工夫するだけでなく、全く新しい発想の取り組みを検討することも必要だと思われる。 |
| 評価基準                        | A : 達成したと認められる B : ほぼ達成したと認められる C : 現状維持であると認められる<br>D : 現状より悪くなったと認められる                        |   |
| 次年度に向<br>けての課題              | コロナ禍の中で、置かれた状況で工夫しながら家庭と連携して、取り組んでいきたい。   |   |

#### 自己評価の基準

**ア よくあてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ 全くあてはまらない**

**A 達成した ア、イの合計が85%以上**

**B ほぼ達成した ア、イの合計が60%以上、85%未満**

**C 現状維持にとどまった ア、イの合計が40%以上、60%未満**

**D 現状より悪くなった ア、イの合計が40%未満**

- ・自己評価は全教職員による。
- ・学校関係者評価は、PTA役員(保護者)、学校評議員、学識経験者等、本校関係者による。
- ・第三者評価は、教育コンサルタント 大西 貞憲 氏による。